

令和7年度(2025年度)第1回吹田市立青少年クリエイティブセンター運営審議会議事概要

1 日 時 令和7年(2025年)7月7日(月)午後6時30分から午後7時40分

2 場 所 青少年クリエイティブセンター 3階視聴覚室

3 出席者

(1) 委 員 狩俣 正雄(議長)、上坂 純郎(副議長)、酒井 睦美、島谷 陽子、
大原 猛、大橋 善正、中尾 麻里、田村 尚俊、森 ゆみ、前田 都、
大川 賢司、光田 修平

(2) 事務局 二宮(地域教育部長)、国本(青少年室長)、
曾我(青少年クリエイティブセンター館長)、西口(同館長代理)、
廣田(同主査)、井崎(同主査)、山下(同主査)、大黒(同主任)

4 欠席者 清水 厚彦(委員)、古本 義信(委員)

5 傍聴者 なし

6 開 会

(1) 地域教育部長挨拶

(2) 審議会委員及び事務局職員の紹介

7 議 題

(1) 議長及び副議長の選出

(2) 令和6年度 利用状況報告及び事業報告

(3) 令和6年度 事業総括

(4) その他

8 審議の概要

○ 吹田市立青少年クリエイティブセンター運営審議会規則に則り、議長及び副議長を互選で決定した。

昨年度に議長、副議長を務めた狩俣委員を議長に、上坂委員を副議長に推薦する意見があり、一同両氏を議長、副議長として同意。

【決定】 議長：狩俣正雄委員、副議長：上坂純朗委員

○ 配付資料により事務局から説明を行った。委員から出された意見・質問の概要は以下のとおり。

(1) 青少年会館の利用状況

委 員：青少年会館の昨年度7月の利用者数は約1200人で、1日平均40人だが、この人数を受け入れ可能なのか。安全に問題はないのか。場所が足りない場合は、別の貸室を開放するなどの対応が必要ではないか。更に利用者数が増えることも予想される。

事務局：1日40人という数字は多く感じるかもしれないが、体を動かす、宿題をするために利用する等、様々な利用方法があり、現状では危険な状態ではないと認識し

ている。指導員を適切に配置し、安全面に配慮しながら運営していく。

(2) 施設の老朽化

委員：机や椅子等の備品を含め、施設の老朽化が目立つ。また、蛍光灯の製造中止も近いため、改修が必要と思われる。子供たちが使用する道具や、体育館の備品も更新すべきと考える。

事務局：施設備品の老朽化については、順次更新していく。昨年度は自習室の机を新調し、今年度は体育館の水銀灯を LED に変更する予定となっている。引き続き、備品等の更新を進めていく。

(3) 熱中症対策

委員：熱中症対策について、体育館や運動場の対応はどうなっているか。

事務局：現在は、熱中症対策として各小・中学校からスポットクーラーを借受けて運用しており、また、青少年会館内にクーラーの効いた休憩室を用意している。今冬には体育館に空調機器を導入予定で、来夏での効果発揮を見込んでいる。

(4) 運動広場の利用状況

委員：昨年度の 11 月及び 12 月に大学生以上の運動広場利用者数が、増加しているがその理由は何か。

事務局：保育園及び幼稚園へのグラウンド貸出しがあり、保護者の観覧が多かったため大学生以上の利用者数が増加した。

(5) 親子向け事業と駐車場

委員：親子向け事業は高い評価を得ている一方で、駐車場のニーズは把握しているか。

事務局：親子向け事業や他事業においても、市全域が対象範囲であることを考えると、駐車場のニーズは認識している。今後の建替え等を検討する際には、駐車場の必要性について十分に考慮していく。

(6) 相談事業

委員：子育てこころの健康相談について、詳しく教えて欲しい。

事務局：臨床心理士に依頼して相談事業を実施している。利用方法は、困りごとを相談したい、話を聞いて欲しい、経過を見て欲しい等多岐に渡る。必要に応じて、専門機関への紹介も行っている。